

## 「日伯政治経済セミナー」における梅田大使の開会挨拶

### 1. はじめに

日伯外交関係樹立120周年を迎える今年、ブラジル国内では約900の関連行事が開催されています。本日のセミナーは、その中で日本とブラジルの政治・経済関係の過去・現在・未来を考察する唯一のセミナーであり、非常に重要な行事です。本セミナーの開催にご支援をいただいた、カルロス・マリアーニ FIRJAN 副会頭、アマウリ・テンポラル FIRJAN 国際部門部長をはじめとする FIRJAN の方々、山元リオ総領事はじめ総領事館員に感謝を申し上げます。

### 2. 日伯関係飛躍の3年

日本政府は、2014年から2016年の3年間を、日伯関係を飛躍させるための大きなチャンスととらえています。

昨年、安倍総理が現役総理として10年ぶりに訪伯し、ルセーフ大統領との首脳会談において、二国間関係を「戦略的グローバル・パートナーシップ」として位置づけることで合意しました。また、ワールドカップ期間中、1万5千人以上の日本人がブラジルを訪れました。

経済分野では、2009年以降の5年間に、ブラジルで活動する日本企業の数は倍増し、約700社となりました。日本企業は、現在のブラジルの厳しい経済状況の中で、中長期的な視点からブラジルにおけるビジネスのあり方を模索しています。

政治・安全保障分野では、昨年の首脳会談以降、制服間（military to military）の緊密な人的交流と安全保障に関する対話が開始されています。このような交流は、二国間の歴史において初めてのことです。

日伯外交関係樹立120周年の様々な記念行事は、一年を通じてブラジル各地で900近く開催され、おそらく数百万人のブラジル人の方が参加されます。6月18日（日本移民の日）、ブラジリアの連邦下院において日伯関係強化のための特別公聴会が実施されました。一連の120周年記念行事は、10月末の秋篠宮殿下及び妃殿下のブラジル御訪問、12月初旬のジルマ大統領の訪日でクライマックスを迎えます。

来年（2016年）、当地でリオ・オリンピック・パラリンピックが開催されます。2020年大会は東京で開催されることから、リオの成功は日本にとっても非常に重要です。既に、日本から多くの関係者がブラジルを訪れていますが、来年8月及び9月の本番に向けて日伯間の人的交流は加速すると考えます。

### 3. 日本にとってのブラジルの重要性

次に、日本がブラジルを重視する5つの理由を説明します。

(1) 第一に、日本とブラジルは、民主主義、司法の独立、報道の自由等の基本的価値観を共有しています。両国はそれぞれ大きな課題に直面していますが、透明感のある公正な社会の実現に向け努力しています。

今年、第二次世界大戦が終了して70年を迎えます。

8月14日、安倍総理大臣は戦後70年談話を発表しました。その談話の中で、安倍総理は、「私たちは、国際秩序への挑戦者となった過去をこの胸に刻み続けます」と述べたうえで、「日本は、自由、民主主義、人権といった基本的価値を堅持し、「積極的平和主義」の旗を掲げ、基本的価値を共有する国々と手を携えて、世界の平和と繁栄に貢献してまいります」と述べられました。日本にとってブラジルは正に自由や民主主義といった基本的価値を共有する重要なパートナーです。

(2) 第二に、日本とブラジルの間には「特別な人的絆」が存在しています。ブラジルの日系人数は約190万人であり、海外の日系人コミュニティとして世界最大です。また、日本には約18万人のブラジル人コミュニティがあります。

(3) 三点目は、ブラジルは世界有数の親日国であることです。ブラジルでは、日系人は信頼されており、日本人も恩恵を受けています。焼きそば等の日本食、柔道、アニメ等はブラジル文化の一部となっています。この背景には、日系人の方々の長年にわたるブラジル社会への多大な貢献があり、日本大使として心より感謝しています。大多数の日本人もブラジルに対して好感を有しています。

(4) 四点目は、緊密な経済関係です。日本とブラジルは、これまでにセラード開発（プロデセール）、セニブラ（パルプ）、ウジミナス（鉄鋼）等のプロジェクトを協力して実現してきました。現在、日本はブラジルから鉄鉱石、大豆、鶏肉等の食糧を輸入しており、ブラジルは日本の資源と食糧安全保障の観点から不可欠の存在です。また、GDP世界7位のブラジルは、消費市場及び投資対象国としても非常に重要です。

(5) 五点目は、国際舞台での協力を深めていることです。例えば、G4の枠組みでの安保理改革、日本とブラジルが採用しているデジタル放送方式の普及、モザンビークでのプロサバンナ事業等において、ブラジルは日本の重要なパートナーです。

最後に、本日講演いただく3名の方々は、いずれも日伯関係について幅広い見識を有しておられます。日伯関係の更なる発展のために何をすべきか、具体的アイデアやヒントをいただけることを期待し、私のあいさつとさせていただきます。有難うございました。